

### 防災ビジネスで半世紀

はこう話す。

同社の創業は一九五七年三月。市制施行後二年半にも満たない相模原市

公共施設、事業所への設置を積極的に推進。着実に業績を伸ばした。

七〇年代に入ると、ベ

年には厚木に営業所を開設。八一年には本社社屋を一新した。

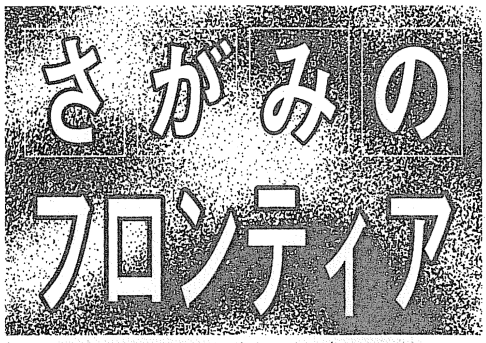
九七年、河本社長が三代目に就任時には、年商十億円の組織に成長。既に事業は消火器販売のみ

「この業界は、いい意味で保守・点検・管理も事業の新たな柱として加わった。

対応しながら事業を組み合わせ、同社長は成長の足跡を振り返る。防災ビジネスには国家資格が必要な領域も少なくないが、かつての酒類販売のように業者数が制限されるものではないから、資格さえ満たせば新規参入は比較的容易だ。このため実際、市内でも群雄割拠の情勢で、昨今は価格競争も激しくなっている。その上、売掛金の未回収などビジネス上の「災害」に遭遇するリスクも高まりつつある。

我が国において防災ビジネスは、永続的な需要の見込める安定したビジネスといえる。それを確たるものにしていく大きな理由の一つに、世界有数の地震多発国という事実があげられる。

一九九五年の阪神・淡路大震災や二〇〇四年の中越地震はもちろんのこと、同年のスマトラ沖地震による大津波や昨年の中国・四川大地震の際も、日本国民にとっては対岸の火事とは思えぬ大きな衝撃を受けた。



(株)河本総合防災



「積極的なチャレンジ」を強調する河本社長

また、〇二年からは防災・防犯用品のインターネットショップを展開。取扱品目は極めて豊富で、ホームセンターもその比ではない。

「大きな災害の後には、問い合わせ件数が格段に増える」

この業界で半世紀余の歴史をもつ(株)河本総合防災(相模原市鹿沼台二一

の人口はおよそ八万五千

「積極的なチャレンジ」を強調する河本社長

味で法律とのかかわりが深い。消防法が改正されるたびに、特需が発生するので、そうした流れに

対応しながら事業を組み合わせ、同社長は成長の足跡を振り返る。防災ビジネスには国家資格が必要な領域も少なくないが、かつての酒類販売のように業者数が制限されるものではないから、資格さえ満たせば新規参入は比較的容易だ。このため実際、市内でも群雄割拠の情勢で、昨今は価格競争も激しくなっている。その上、売掛金の未回収などビジネス上の「災害」に遭遇するリスクも高まりつつある。

今年(七月)売上高は二十億円強が見込まれており、盤石の組織基盤を整えつつある。

器メーカーの販売代理業で、建設業者との協力関係をともに、新設される

### 時流をつかみ「カワモトブランド」の全国展開目指す

(矢吹)